詳細仕様書

大区分	小区分	内容
7 (- 73		エンジニアリング
		当院の電子カルテシステムと連携し、注射オーダーを自動的に入力する機能を保有し、その
	1-1	データに基づき、注射薬払出装置を稼働させること。
		注射薬補充業務の作業効率を考慮して、注射薬は全て注射薬カセットにランダムに収納され
	1-2	ること。
	1-3	患者トレーは、トレー内を小分けトレーで4分割した仕様となっていること。
	1 3	注射薬の払い出しは、4分割された患者トレーの分割部に、施用単位に注射薬と注射ラベル
	1-4	
	1 -	が自動投入されること。また、注射せんもトレー内に自動投入されること。
	1-5	注射薬の種類、処方本数等により、施用単位を分割トレーに自動投入できること。
	1-6	注射薬払出装置で使用するトレーは、A4サイズの注射せんが折らずに投入できること。
	1-7	使用するトレーは、本院で既に使用しているトレーを流用するか、別途準備すること。
	1-8	使用する病棟運搬・保管用カートは、重ねて収納できるなど省スペース化に配慮しているこ
	1-9	注射薬、注射せん、注射ラベルが欠品した場合や完了トレーが満杯になった場合、画面表示
	' '	及び音で知らせること。
	1-10	各装置にて注射薬及び消耗品の欠品や装置エラーが発生した際には、対象箇所、注射薬名称
	1 10	を通知すること。
	1-11	注射薬払出装置の全ユニットは背面を開けることなく、正面からメンテナンスが完結するこ
		とにより壁付け設置ができること。また部屋の中央などにも多彩な設置ができること。
	1 10	完了トレー装置とカートへの自動収納装置を使うことで、一般処方と臨時処方にトレーを分
1	1-12	けて払い出せること。
	1-13	処理速度は、注射薬自動払出1式あたり1時間あたり300分割(施用)程度であること。
	1-14	装置に電源を供給できない状況でも、注射薬を取り出せること。
	1-15	非常停止ボタンが備わっていること。
		輸液など注射薬払出装置から払い出すことができない薬剤については、部署ごとに「取り揃
	1-16	えリスト」を出力できること
		使用するトレーは輸液の収納に優れ、作業効率を考慮して重ねて積めるなど、トレー保管の
	1-17	省スペース化にも配慮している寸法であること。
	1-18	注射薬払出装置で使用するトレーは、病棟運搬・保管用カートに収納できること。
	1-19	
	1-19	アン一関画に患者名などの必要な情報を掲載くさる機能を行りること。 注射薬払出装置は、空トレー装置1台、ラベルプリンター装置1台、アンプルバイアル払出装置
	1-20	注別栄払山衣里は、エドレー衣里 ロ、ノハルノリノソー衣里 ロ、ノフルハイナル払山衣里 /ニンガノ女技ナギ)14、注射サノデリンカー 壮栗14、ウフレー、壮栗14、レー・女動収納
	1-20	(ランダム充填方式)1台、注射せんプリンター装置1台、完了トレー装置1台、トレー自動収納
	1 21	装置1台から構成され、本院の希望する払出形態が実現できること。
	1-21	注射薬払出装置の機器構成は、上記の構成のものを1式として、総計2式を納入できること。
	1-22	一次側設備・施設建築物・床の補強・電源設備等は本院が用意するので、これらの詳細に関し
		ては本院に問合わせること。
	1 22	装置の設置にあたり、一次側設備・施設建築物・床の補強・電源設備 等以外の、電源タップ・
	1-23	配線・配管等を必要とする場合は、納入業者の負担で用意すること。
	1-24	制御用PCは、クライアントPC本体1台で構成されていること。
	アンブルバ	イアル払出装置(ランダム充填方式)
	2-1	注射薬払出時にGS1バーコード及び使用期限を自動で読み取る機能があり、間違った注射
	_ '	薬が充填されている場合や、使用期限が切れている注射薬があった場合に通知ができるこ
	2-2	装置前面にタッチモニターがあり、注射薬の在庫切れや各種エラーの表示および注射薬補充
		操作や装置内注射薬在庫量確認などの情報を表示できること。
		注射薬カセットの適応可能な注射薬は以下のとおりであること。
	2-3	●1~20mlアンプル ●20mlプラスチックアンプル ●直径40mm以下のバイアル
	2-4	払出量に応じて、同一注射薬を複数カセットに収納できること。
	2-5	注射薬力セットは実装注射薬を変更する際などに薬品力セット調整が不要な方式、もしくは
	<u> </u>	サイズ登録の変更などで可能であること。
	2-6	注射薬カセットは補充の効率を重視した開閉蓋がない構造で、カセット上部から直接補充で
2		きること。
-	2-7	注射薬補充のしにくさや注射薬破損の要因になるものはカセット内に使用していないこと。
	2-8	注射薬補充時の入れ間違いを防止するバーコードチェックシステムがあること。
	2-9	注射薬カセットの配置換えは、部品の交換をすることなく注射薬カセットの移動もしくは登
		録の変更で実現できること。
	2-10	装置に電源を供給できない状況でも、注射薬を取り出せること。
	2-11	返納注射薬の自動仕分け機能があること。
	2-12	自動で仕分けした返納注射薬から優先的に払出しを行う機能があること。
	2-13	返納注射薬の自動仕分け時に使用期限チェックができること。
		返納注射薬の自動仕分け時に、使用期限が切れている注射薬やバーコードの読取りが出来
	2-14	なかった注射薬は、専用の保管エリアに自動で仕分けられること。
1		500 ~(C注意を) はこうできます 100 ~

2-15 返的注射薬の自動性分け中にオーターを受信した場合には、注射薬払出しを優先する割り 込み処理機能があること。 注射せんプリンター装置 3-1 A4サイズの注射せんを印字できること。 「注射せんには、以下の両目を適切な位置にレイアウトでき印刷できること。 ●電子カルテのID ●患者氏名・●疾患を自動カウントする機能があること。 ●電子カルテのID ●患者氏名・●疾患を自動は薬名称・●珍様料名称・●生年月日 ●年齢・●性別・●オ・学師部・●は財業名称・●珍様料名称・●生年月日 ●年齢・●性別・●オ・学師部・●は財業名称・●珍様料名称・●生年月日 ●安静・経 中間・●オ・ター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大区分	小区分	内容
2.16 単型部別式を用いて、装置内注射薬の在庫量を自動カウントする機能があること。 注射セんには、以下の項目を適切な位置にレイアウトでき印刷できること。		2-15	
注射せんプリンター装置			込み処埋機能があること。
3-1			里里計測力式を用いて、表直内注射条の仕岸里を日勤カワフト9 る機能がめること。 プロッター装置
# 計せんには、以下の項目を通知なの置にレアウトでき印刷できること。	3		
 ●電子カルテのID ●患者氏名 ●誘陳名称 ●診療科名称 ●生年月日 3-2 「弁鈴 ● 伊知 ● オーラ 一 医図る ● 注射薬素称 ● 保存区分(冷所、暗所等) ●注射薬 例 (公介輸液、毒素、刺薬等) ● 施用量 ● 施用単位 ●手技 ② (公介輸液、毒素、刺薬等) ● 能用量 ● 施用単位 ●手技 ② (公介輸液、毒素、刺薬等) ● (金) ●		<u> </u>	
3-2			
3		2_2	
3-3 3-3 3-3 3-3 3-3 3-3 3-3 3-3 3-3 3-3		3-2	
3-3 注射せんに、投棄権認に使用する患者リストバンドと整合性がとれるパーコードを印字できること。 3-4 注射せんは薬剤部用と病棟用の2部が印刷できること。 3-5 必要時は外部に設置したプリンターでも同様な注射せんが印刷できること。 3-6 注射せんはブルカラー印刷でき、例のの数で使用するフォントが使えること。 3-7 長寿命を考慮して、「ユニット内に2合のカラーレーザーブリンターを搭載していること。 3-7 長寿命を考慮して、「ユニット内に2合のカラーレーザーブリンターを搭載していること。 2台のプリクターを搭載していることにより、一方にトラブルが発生しても2台稼動時と同様に払い出せること。 ラベルブリンター装置 4-1 注射ラベルは旋用単位ごとに発行でき、トレー内の各小分けトレーに注射ラベルを自動投入できること。 4-2 注射ラベルは投入位置が定まらない自然落下方式ではなく、注射ラベルを掴めで正確に投入できるロボットアームを搭載していること。 4-3 注射ラベルはは、以下の項目を適切な位置にレイアウトでき印刷できること。 第子カルアのID ●患者氏名 ●病株名称 ●診療名称 ●生年月日 ●年齢 ●性別 ●医師名 ●注射薬名称 ●年年月日 ●年齢 ●性別 ●医師名 ●注射薬名称 ●年年月日 ●本齢 ●性別 ●医師名 ●注射薬名称 ● 4年月日 ● 6 単中 ● ● 手及 ● 例を経路 ● 6 地田回数 ● 投与スピード ●コメント ● 処力区分 ● 至まを対入がいて・整合性がとれる「一コードを印字できること。 4-8 注射ラベルに、投棄確認に使用する患者リストバンドと整合性がとれる「一コードを印字できること。 4-7 注射ラベルへの印字はWindowsで使用するフォントが使えること。 4-8 注射ラベルにの印きはWindowsで使用するフォントが使えること。 4-7 注射ラベルには注意書き情報が印刷できること。(例えば配合変化が懸念される処方の場4-9 長寿命を考慮して、「ユニット内に2台のラベルブリンターを搭載していること。 2台のブリンターを搭載していることにより、一方にトラブルが発生しても2台稼動時と同様に払い出せること。 空トレー装置は、トレーを積載した専用トレーをまとめて積載できること。 5-1 エニットは登録とできること。 5-2 空トレー装置は、トレーを積載したり状態できること。 5-3 空トレー装置は、トレーを積載したりまできること。 7 またと ● 1 1 ユニットできる ● 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
3-3			
3-4 注射性人は薬剤部用と病棟用の2部が印刷できること。 3-5 必要性は外部に設置したブリンターでも同様な注射せんが印刷できること。 3-6 注射せんはフルカラー印刷でき、Windowsで使用するフォントが使えること。 3-7 長寿命を考慮して、1ユニット列に2音のカラーレーザーブリンターを搭載していること。 2台のブリンターを搭載していることにより、一方にトラブルが発生しても2台稼動時と同様に払い出せること。 ラベルブリンター変置 4-1 注射ラベルは施用単位ごとに発行でき、トレー内の各小分けトレーに注射ラベルを自動検入できること。 1差射ラベルは機力値置が定まらない自然落下方式ではなく、注射ラベルを掴んで正確に投入できることが上がアームを搭載していること。 4-2 注射ラベルは投入位置が定まらない自然落下方式ではなく、注射ラベルを掴んで正確に投入できることが上がアームを搭載していること。 4-3 注射ラベルは関大の項目を適切な位置にレイアウトでき印刷できること。 「連射ラベルは関大の項目を適切な位置にレイアウトでき印刷できること。 ●電子カルテクID ● 書者氏名 ● 病棟名称 ● 漁用回数 ● 投与スピード ● コメント ● 処方区分 ● 全部区分 ● 分対経区分 ● 漁村経区分 ● 漁村区 ● 漁村区 ● 漁村区 ● 漁村経区 ● 漁村区 ●		3-3	
3-5 必要時は外部に設置したブリンターでも同様な注射せんが印刷できること。 3-6 注射せんはフルカラー印刷でき、Windowsで使用するフォントが使えること。 3-7 長寿命を考慮して、1ユニット内に2台のカラーレーザーブリンターを搭載していること。 2台のブリンターを搭載していることにより、一方にトラブルが発生しても2台稼動時と同様に払い出せること。 ラベルブリンター装置 4-1 注射ラベルは施用単位ごとに発行でき、トレー内の各小分けトレーに注射ラベルを自動投入できること。 4-2 注射ラベルは投入位置が定まらない自然落下方式ではなく、注射ラベルを掴んで正確に投入できるロボットアームを搭載していること。 2台のブリンターを搭載していること。 4-3 注射ラベルは投入位置が定まらない自然落下方式ではなく、注射ラベルを掴んで正確に投入できるロボットアームを搭載していること。 2音オカルテのID ●患者氏名 ●病脾のな位置にレイアウトできも即刷できること。 ●電子カルテのID ●患者氏名 ●病脾を介護のな位置にレイアウトできも即刷できること。 ●電子カルテのID ●患者氏名 ●病脾を介護ではなくモーター制御であること。 ・ 全年月日 ●年齢 ●性別 ●医師名 ●注射薬名称 ・ 保存区分(冷所、時所等) ●注射薬区分(輸液、毒薬・劇薬等) ●施用量 ●施用単位 ●手技 ●投与総館 ●施用回数 ●投与スピード ・ コメット ●処方区分 ● 全度の ● オーター著号 など 注射ラベルには、対象確認し使用する。まず、カーカにからの記念される処方の場 4-5 差別・スルーには、注意書き情報が印刷できること。 4-6 必要時は外部に設置したブリンターでも同様な注射ラベルが印刷できること。 4-7 注射ラベルには注意書き情報が印刷できること。いり、カード・ラブルが発生しても2台稼動時と同様に対している。 2台のブリンターを搭載していることにより、一方にトラブルが発生しても2台稼動時と同様により、ファルー装置は、アンブル・バイアル等を払い出すトレーをまとめて積載した明新できること。 5-1 コニットを置は、アンブル・バイアル等を払い出すトレーをまとめて積載でき、払い出し時に自動でトレー接置は、アンブル・バイアル等を払い出すトレーをまとめて積載できること。 5-2 空トレー装置、1コニットで表大20個以上のトレーを収納できること。 5-3 こと。 5-4 トレー台車 プリンターでも高には、文字や音声で内容をお知らせできること。 7 フー発生時やトレー補売時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 7 フー発生時やトレー補売時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 7 フー発生時やトレー補売時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 7 フー発生時やトレー補売時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 7 フー発生時やトレー補売時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 7 フーを描しまないを描していること。 1 トレー台車はトレーを積んでいないい時は複数台をスタッキング保管できること。 7 フーを描しまが表で表のであれていること。 8 日にはいますないましまが表しましますないましますないましますないましますないませませますないましますないませますないましますないましますないませますないませますないましますないませますないませますないましますないませますないませますないましますないませますないますないませますないませますないますないませますないませますないませますないませませますないませますないませますないませますないますないませますないませますないませますないませますないませますないませますないませませますないませますないませますないませますないませますないませますないませませますないませませますないませますないませますないませますないませますないますないませますないませますないませますないませますないませますないますないませますないませますないませますないませますないませますなどものできますな		3-4	
3-6 注射せんはフルカラー印刷でき、Windowsで使用するフォントが使えること。 3-7 長寿命を者属して、コニット内に2合のカラーレザーブリンターを搭載していること。 2台のブリンターを搭載していることにより、一方にトラブルが発生しても2台稼動時と同様に払い出せること。 ラベルブリンター装置 4-1 注射ラベルは施用単位ごとに発行でき、トレー内の各小分けトレーに注射ラベルを自動投入できること。 4-2 注射ラベルは投入位置が定まらない自然落下方式ではなく、注射ラベルを掴んで正確に投入できること。 4-3 注射ラベルは以入位置が定まらない自然落下方式ではなく、注射ラベルを掴んで正確に投入できるのエと。 1注射ラベルは、以下の項目を適切な位置にレイアウトでき印刷できること。 4-3 注射ラベルは、以下の項目を適切な位置にレイアウトでき印刷できること。 第オカルテの1D 場番氏名 ● 病棟名称 ● 診療名称 ● 保存区分(冷所・商所等) ● 辻津減区分(輸液・毒薬・劇業等) ● 施用量 ● 節用単位 ● 手技 ● 投与経路 ● 施用回数 ● 投与スピード ● 国内 ● 原籍の ● 全部 ● 大学 ● 投与経路 ● 施用回数 ● 投与スピード ● コメント ● 処方区分 ● 全急区分 ● オーター 音号 など ・ と歌時は外部に設置したブリンターでも同様な注射ラベルが印刷できること。 4-7 注射ラベルに、投薬確認に使用する患者リストバンドと整合性がとれるパーコードを印字できること。 4-8 注射ラベルに、投薬確認に使用する患者リストバンドと整合性がとれるパーコードを印字できること。 4-7 注射ラベルの印字はWindowsで使用するフォントが使えること。 4-8 注射ラベルの印字はWindowsで使用するフォントが使えること。 4-9 長寿命を考慮して、コニット内に2台のラベルブリンターを搭載していること。 2台のブリンターを搭載していることにより、一方にトラブルが発生しても2台稼動時と同様でトレー装置が、アンブル・バイアル等を払い出すトレーをまめて積載できること。 空トレー装置(トレー会車を通力式)・アンブル・バイアル等を払い出すトレーをまめて積載できること。 5-1 コニットは26個以上のトレーを収納できること。 7-2 ヒーを積ん形状態で移動できること。 7-3 トレー台車がロッ外されている状態できること。 7-4 トレー台車はトレーを表とめて積載した状態で、空トレー装置内にセットできること。 7-5 トレー台車はトレーを表とのて積載した状態で、空トレーを増加けにセットできること。 7-6 トレー分車は、カードトレーを重複がで収納できること。 1 日動収納装置 4 日動収納装置 4 日動収納装置 5 トレー台車は小かことが、の定期トレーと源在で目をならこと。 1 日動収納装置 5 日動収納装置 5 トレー台車は外部に予備で用意できること。 1 日動収納装置 5 日動収納装置 5 トレー台車は小の定期ドレーと混在させないために完了トレー装置へ仕分けられること。			
3-7 長寿命を考慮して、1ユニット内に2台のカラーレーザーブリンターを搭載していること。 2台のプリンターを指載していることにより、一方にトラブルが発生しても2台稼動時と同様に払い出せること。		3-6	注射せんはフルカラー印刷でき、Windowsで使用するフォントが使えること。
1		3-7	長寿命を考慮して、1ユニット内に2台のカラーレーザープリンターを搭載していること。
「近小にはらこと。		3-8	
4-1 注射ラベルは施用単位ごとに発行でき、トレー内の各小分けトレーに注射ラベルを自動投入できること。 4-2 注射ラベルは投入位置が定まらない自然落下方式ではなく、注射ラベルを掴んで正確に投入できるロボットアームを搭載していること。 注射ラベルには、以下の項目を適切な位置にレイアウトでき印刷できること。 注射ラベルには、以下の項目を適切な位置にレイアウトでき印刷できること。 注射ラベルには、以下の項目を適切な位置にレイアウトでき印刷できること。 ・			に払い出せること。
4-1 できること。 4-2 注射ラベルは投入位置が定まらない自然落下方式ではなく、注射ラベルを掴んで正確に投入できるロボットアームを搭載していること。 4-3 注射ラベル送り機構は静電気の発生を伴う自然落下ではなくモーター制御であること。 注射ラベルには、以下の項目を適切な位置にレイアウトでき印刷できること。 ●電子カルテのID ●患者氏名 ●病棟名称 ●診療名称 ●生年月日 ●年齢 ●性別 ●医師名 ●注射薬名称 ●保存な分(冷所・暗所等) ●注射薬区分(輸液、毒薬、劇薬等) ●施用量 ●施用単位 ●手技 ●投与経路 ●施用回数 ●投与スピード ●コメント ●処方区分 ●主急区分 ●オーダー番号 など ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
4-2 注射ラベルは投入位置が定まらない自然落下方式ではなく、注射ラベルを掴んで正確に投入できるロボットアームを搭載していること。 注射ラベルには、以下の項目を適切な位置にレイアウトでき印刷できること。 注射ラベルには、以下の項目を適切な位置にレイアウトでき印刷できること。 ・●電子カルテのID ●患者氏名 ●疾棟名称 ●診療名称 ・●生年月日 ●年齢 ●性別 ●医師名 ●注射薬名称 ・●保存区分(冷所・暗所等) ●注射薬区分(輸液・毒薬・劇薬等) ・●施用量 ●施用単位 ●手技 ●投与経路 ●施用回数 ●投与スピード ・●コメント ●処方区分 ●至急区分 ●オーダー番号 など ・ 注射ラベルに、投薬確認に使用する患者リストバンドと整合性がとれるパーコードを印字できること。 4-6 必要時は外部に設置したブリンターでも同様な注射ラベルが印刷できること。 4-7 注射ラベルへの印字はWindowsで使用するフォントが使えること。 4-8 注射ラベルへの印字はWindowsで使用するフォントが使えること。 4-8 注射ラベルへの印字はWindowsで使用するフォントが使えること。 2台のブリンターを搭載していることにより、一方にトラブルが発生しても2台稼動時と同様に払い出せること。 空トレー装置は、フュブリーバイアル等を払い出すトレーをまとめて積載でき、払い出し時に自動でトレー供給できること。 っ 空トレー装置は、1ユニットで最大20個以上のトレーを収納できること。 5-2 空トレー装置は、1ユニットで最大20個以上のトレーを取納できること。 5-3 空トレー装置は、1ユニットで最大20個以上のトレーを取納できること。 5-4 トレー台車が取り外されている状態でも、払出処理を継続する機能があること。 5-5 ブラ・発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 元アトレー装置 ・トレー台車は、カートと収納できること。 7-2 トレーを積み重ねて保管できること。 7-3 トレー台車はトレーを推動できること。 7-5 トレー台車はトレーを積載して状態で、空トレー装置内にセットできること。 7-6 トレー自動と対象であるとのる重ねた20個以上のトレーを一度に充填できること。 トレー自動と対象で		4-1	
4-2 人できるロボットアームを搭載していること。		4.2	
注射ラベルには、以下の項目を適切な位置にレイアウトでき印刷できること。 ●電子カルテのID ●患者氏名 ●病棟名称 ●診療名称 ●集年月日 ●年齢 ●性別 ●医師名 ●注射薬名称 ●原存区分(冷所、暗所等) ●注射薬区分(輸液、毒薬、劇薬等) ●原用量 ●施用単位 ●手技 ●投与経路 ●施用回数 ●投与スピード ●コメント ●処方区分 ● 至急区分 ● オーダー番号 など など		. –	入できるロボットアームを搭載していること。
4-4 ●電子カルテのID ●患者氏名 ●病棟名称 ●診療名称 ●生年月日 ●年齢 ●性別 ●医師名 ●注射薬医分(輸液、毒薬、劇薬等) ●施用量 ●施用単位 ●手技 ●投与経路 ●施用回数 ●投与スピード ●コメント ●処方区分 ●至点 ●投与経路 ●施用回数 ●投与スピード ●コメント ●処方区分 ●至点 ●投与経路 ●施用回数 ●投与スピード ●コメント ●処方区分 ●至点 ●投与経路 ●施用回数 ●投与スピード ●コメント ●処方区分 ● 1 中で 1		4-3	
4-4 ●生年月日 ●年齢 ●性別 ●医師名 ●注射薬医分(輸液、毒薬、劇薬等) ●保存区分(冷所、暗所等) ●注射薬区分(輸液、毒薬、劇薬等) ●施用量 ●施用単位 ●手技 ●投与経路 ●施用回数 ●投与スピード ●コメント ●処方区分 ●至急区分 ●オーダー番号 など は射ラベルに、投薬確認に使用する患者リストバンドと整合性がとれるバーコードを印字できること。 4-6 必要時は外部に設置したプリンターでも同様な注射ラベルが印刷できること。 4-7 注射ラベルへの印字はWindowsで使用するフォントが使えること。 4-8 注射ラベルには注意書き情報が印刷できること。(例えば配合変化が懸念される処方の場 4-9 長寿命を考慮して、1コニット内に2台のラベルブリンターを搭載していること。 4-10 2台のプリンターを搭載していることにより、一方にトラブルが発生しても2台稼動時と同様に払い出せること。 空トレー装置(トレー台車充填方式) 5-1 空トレー装置は、アンブル・バイアル等を払い出すトレーを収納できること。 5-2 空トレー装置は、1コニットで最大20個以上のトレーを収納できること。 5-3 空トレー装置は、トレーを積載した専用トレー台車を自動で引き込み、本装置内にセットできること。 5-4 トレー台車が取り外されている状態でも、払出処理を継続する機能があること。 5-5 コラ・発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 元ブトレー装置 6-1 1ユニットは26個以上のトレーを収納できること。 たフー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 デフトレー装置 7-1 トレーを積み重ねて保管できること。 7-2 トレー台車はが形でで移動できること。 7-3 トレー台車はカアにない時は複数台をスタッキング保管できること。 7-4 トレー台車は、カ率化の為重ねた20個以上のトレーをで見た境できること。 7-5 トレー台車は効率化の為重ねた20個以上のトレーをで見た境できること。トレー自動収納装置 8-1 注射薬カートにトレーを自動で収納できること。 B-2 臨時トレーは注射薬カート内の定期トレーと混在させないために完了トレー装置へ仕分けられること。			
4-4 ●保存区分(冷所、暗所等) ●注射薬区分(輸液、毒薬、劇薬等) ●施用量 ●施用単位 ●手技 ●投与経路 ●施用回数 ●投与スピード ●ユメント ●処方区分 ●至急区分 ●オーダー番号 など 4-5 注射ラベルに、投薬確認に使用する患者リストバンドと整合性がとれるバーコードを印字できること。 4-6 必要時は外部に設置したプリンターでも同様な注射ラベルが印刷できること。 4-7 注射ラベルには注意書き情報が印刷できること。(例えば配合変化が懸念される処方の場4-9 長寿命を考慮して、1ユニット内に2台のラベルブリンターを搭載していること。2台のプリンターを搭載していることにより、一方にトラブルが発生しても2台稼動時と同様に払い出せること。 2台のプリンターを搭載していることにより、一方にトラブルが発生しても2台稼動時と同様に払い出せること。 空トレー装置は、アンブル・バイアル等を払い出すトレーをまとめて積載でき、払い出し時に自動でトレー機給できること。 5-2 空トレー装置は、アンブル・バイアル等を払い出すトレーを収納できること。 5-2 空トレー装置は、トレーを積載した専用トレー台車を自動で引き込み、本装置内にセットできること。 5-4 トレー台車が取り外されている状態でも、払出処理を継続する機能があること。 5-5 エラー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 完了トレー表置 6-1 コニットは26個以上のトレーを収納できること。 フー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 ア・1 トレーを積み重ねて保管できること。 ア・2 トレー台車は、トレーを積がで移動できること。 ア・3 トレー台車は、効率化の為重ねた20個以上のトレーを度に充填できること。 ア・4 トレー台車は、効率化の為重ねた20個以上のトレーを一度に充填できること。 トレー音車は、効率化の為重ねた20個以上のトレーを一度に充填できること。 トレー自動収納装置 8-1 注射薬カートにトレーを自動で収納できること。 8-2 臨時トレーは注射薬カート内の定期トレーと混在させないために完了トレー装置へ仕分けられること。			
●施用量●施用単位●手技●投与経路●施用回数●投与スピード □コメント●処方区分●至急区分●オーダー番号 など 4-5 注射ラベルに、投薬確認に使用する患者リストバンドと整合性がとれるバーコードを印字できること。 4-6 必要時は外部に設置したプリンターでも同様な注射ラベルが印刷できること。 4-7 注射ラベルへの印字はWindowsで使用するフォントが使えること。 4-8 注射ラベルには注意書き情報が印刷できること。(例えば配合変化が懸念される処方の場4-9 長寿命を考慮して、1ユニット内に2台のラベルブリンターを搭載していること。によい、一方にトラブルが発生しても2台稼動時と同様に払い出せること。 2台のブリンターを搭載していることにより、一方にトラブルが発生しても2台稼動時と同様に払い出せること。 空トレー装置は、アンブル・バイアル等を払い出すトレーをまとめて積載でき、払い出し時に自動でトレー供給できること。 5-1 空トレー装置は、1ユニットで最大20個以上のトレーを収納できること。 5-2 空トレー装置は、1ユニットで最大20個以上のトレーを収納できること。 5-3 空トレー装置は、トレーを積載した専用トレー台車を自動で引き込み、本装置内にセットできること。 5-4 トレー台車が取り外されている状態でも、払出処理を継続する機能があること。 5-5 エラー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 デアトレー装置 (トレーを積み重ねて保管できること。 7-1 トレーを積み重ねて保管できること。 7-2 トレー台車は、トレーをまとめて積載した状態で、空トレー装置内にセットできること。 7-4 トレー台車は、トレーをまとめて積載した状態で、空トレー装置内にセットできること。 7-6 トレー台車は、トレーを重ねでいない時は複数台をスタッキング保管できること。 7-7-6 トレー台車は、カートレーをまとのて積載した状態で、空トレー装置内にセットできること。 トレー自動収納装置 8-1 注射薬カートにトレーを自動で収納できること。 8-2 臨時トレーは注射薬カート内の定期トレーと混在させないために完了トレー装置へ仕分けられること。		4-4	
●コメント ●処方区分 ●至急区分 ●オーダー番号 など 4-5 注射ラベルに、投薬確認に使用する患者リストバンドと整合性がとれるパーコードを印字できること。 4-6 必要時は外部に設置したプリンターでも同様な注射ラベルが印刷できること。 4-7 注射ラベルへの印字はWindowsで使用するフォントが使えること。 4-8 注射ラベルには注意書き情報が印刷できること。(例えば配合変化が懸念される処方の場 長寿命を考慮して、1ュニット内に2台のラベルブリンターを搭載していること。2台のプリンターを搭載していることにより、一方にトラブルが発生しても2台稼動時と同様に払い出せること。空トレー装置は、アンブル・バイアル等を払い出すトレーをまとめて積載でき、払い出し時に自動でトレー共給できること。 5-1 空トレー装置は、アンブル・バイアル等を払い出すトレーを収納できること。 5-2 空トレー装置は、カニットで最大20個以上のトレーを収納できること。 5-3 空トレー装置は、トレーを積載した専用トレー台車を自動で引き込み、本装置内にセットできること。 5-4 トレー台車が取り外されている状態でも、払出処理を継続する機能があること。 5-5 エラー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 6-2 エラー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 トレー台車 7-1 トレーを積み重ねて保管できること。 7-2 トレーを積んでいない時は複数台をスタッキング保管できること。 7-4 トレー台車は、トレーをまとめて積載した状態で、空トレー装置内にセットできること。 7-5 トレー台車は、カンーとまとのて積載した状態で、空トレー装置内にセットできること。 トレー音車は、効率化の為重ねた20個以上のトレーを一度に充填できること。トレー音車は、効率化の為重ねた20個以上のトレーを一度に充填できること。トレー音動収納装置 8-1 注射薬カートにトレーを自動で収納できること。	4		
4-5 注射ラベルに、投薬確認に使用する患者リストバンドと整合性がとれるパーコードを印字できること。	-		
さること。		1-5	
4-7 注射ラベルへの印字はWindowsで使用するフォントが使えること。			
4-8 注射ラベルには注意書き情報が印刷できること。(例えば配合変化が懸念される処方の場			
4-9 長寿命を考慮して、1ユニット内に2台のラベルプリンターを搭載していること。 4-10 2台のプリンターを搭載していることにより、一方にトラブルが発生しても2台稼動時と同様に払い出せること。 空トレー装置(トレー台車充填方式) 5-1 空トレー装置は、アンプル・バイアル等を払い出すトレーをまとめて積載でき、払い出し時に自動でトレー供給できること。 5-2 空トレー装置は、1ユニットで最大20個以上のトレーを収納できること。 5-3 空トレー装置は、トレーを積載した専用トレー台車を自動で引き込み、本装置内にセットできること。 5-4 トレー台車が取り外されている状態でも、払出処理を継続する機能があること。 5-5 エラー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 第プトレー装置 6-1 1ユニットは26個以上のトレーを収納できること。 6-2 エラー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 トレー台車 7-1 トレーを積み重ねて保管できること。 7-2 トレー台車は、トレーをまとめて積載した状態で、空トレー装置内にセットできること。 7-4 トレー台車は、トレーをまとめて積載した状態で、空トレー装置内にセットできること。 7-5 トレー台車は、トレーをまとめて積載した状態で、空トレー装置内にセットできること。 7-6 トレー充填を効率化するため、トレー台車は外部に予備で用意できること。 トレー自動収納装置 8-1 注射薬カートにトレーを自動で収納できること。 8-2 臨時トレーは注射薬カート内の定期トレーと混在させないために完了トレー装置へ仕分けられること。		4-7	注射ラベルへの印字はWindowsで使用するフォントが使えること。
4-10 2台のプリンターを搭載していることにより、一方にトラブルが発生しても2台稼動時と同様に払い出せること。 空トレー装置(トレー台車充填方式) 5-1 空トレー装置は、アンプル・バイアル等を払い出すトレーをまとめて積載でき、払い出し時に自動でトレー供給できること。 5-2 空トレー装置は、トレーを積載した専用トレー台車を自動で引き込み、本装置内にセットできること。 5-3 空トレー装置は、トレーを積載した専用トレー台車を自動で引き込み、本装置内にセットできること。 5-4 トレー台車が取り外されている状態でも、払出処理を継続する機能があること。 5-5 エラー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 6-1 「ユニットは26個以上のトレーを収納できること。 6-2 エラー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 トレー台車 7-1 トレーを積み重ねて保管できること。 7-2 トレーを積んだ状態で移動できること。 7-3 トレー台車はトレーを積んでいない時は複数台をスタッキング保管できること。 7-4 トレー台車は、トレーをまとめて積載した状態で、空トレー装置内にセットできること。 7-5 トレー台車は、カ率化の為重ねた20個以上のトレーを一度に充填できること。 トレー自動収納装置 8-1 注射薬カートにトレーを自動で収納できること。 8-2 臨時トレーは注射薬カート内の定期トレーと混在させないために完了トレー装置へ仕分けられること。			
### 10 に払い出せること。 空トレー装置(トレー台車充填方式)		4-9	
2トレー装置(トレー台車充填方式) 5-1 空トレー装置は、アンプル・バイアル等を払い出すトレーをまとめて積載でき、払い出し時に自動でトレー供給できること。 5-2 空トレー装置は、1ユニットで最大20個以上のトレーを収納できること。 5-3 空トレー装置は、トレーを積載した専用トレー台車を自動で引き込み、本装置内にセットできること。 5-4 トレー台車が取り外されている状態でも、払出処理を継続する機能があること。 5-5 エラー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 6-1 1ユニットは26個以上のトレーを収納できること。 6-2 エラー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 7-1 トレーを積み重ねて保管できること。 7-2 トレーを積んだ状態で移動できること。 7-3 トレー台車はトレーを積んでいない時は複数台をスタッキング保管できること。 7-4 トレー台車は、トレーをまとめて積載した状態で、空トレー装置内にセットできること。 7-5 トレー台車は、効率化の為重ねた20個以上のトレーを一度に充填できること。 7-6 トレー充填を効率化するため、トレー台車は外部に予備で用意できること。 8-1 注射薬カートにトレーを自動で収納できること。 8-2 臨時トレーは注射薬カート内の定期トレーと混在させないために完了トレー装置へ仕分けられること。		4-10	
5-1 空トレー装置は、アンブル・バイアル等を払い出すトレーをまとめて積載でき、払い出し時に自動でトレー供給できること。 5-2 空トレー装置は、1ユニットで最大20個以上のトレーを収納できること。 5-3 空トレー装置は、1ユニットで最大20個以上のトレーを収納できること。 5-4 トレー台車が取り外されている状態でも、払出処理を継続する機能があること。 5-5 エラー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 完了トレー装置		空トレー装	
5-1 自動でトレー供給できること。			
5-2 空トレー装置は、1ユニットで最大20個以上のトレーを収納できること。			自動でトレー供給できること。
5-3 望トレー装直は、トレーを積載した専用トレー台車を自動で引き込み、本装直内にゼットできること。 5-4 トレー台車が取り外されている状態でも、払出処理を継続する機能があること。 5-5 エラー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 完了トレー装置 6-1 1ユニットは26個以上のトレーを収納できること。 6-2 エラー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 トレー台車 7-1 トレーを積み重ねて保管できること。 7-2 トレーを積んだ状態で移動できること。 7-3 トレー台車はトレーを積んでいない時は複数台をスタッキング保管できること。 7-4 トレー台車は、トレーをまとめて積載した状態で、空トレー装置内にセットできること。 7-5 トレー台車は、効率化の為重ねた20個以上のトレーを一度に充填できること。 7-6 トレー充填を効率化するため、トレー台車は外部に予備で用意できること。 トレー自動収納装置 8-1 注射薬カートにトレーを自動で収納できること。 臨時トレーは注射薬カート内の定期トレーと混在させないために完了トレー装置へ仕分けられること。	5	5-2	空トレー装置は、1ユニットで最大20個以上のトレーを収納できること。
5-4 トレー台車が取り外されている状態でも、払出処理を継続する機能があること。 5-5 エラー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 完了トレー装置 6-1 1ユニットは26個以上のトレーを収納できること。 6-2 エラー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 トレー台車 7-1 トレーを積み重ねて保管できること。 7-2 トレーを積んだ状態で移動できること。 7-3 トレー台車はトレーを積んでいない時は複数台をスタッキング保管できること。 7-4 トレー台車は、トレーをまとめて積載した状態で、空トレー装置内にセットできること。 7-5 トレー台車は、効率化の為重ねた20個以上のトレーを一度に充填できること。 7-6 トレー充填を効率化するため、トレー台車は外部に予備で用意できること。 トレー自動収納装置 8-1 注射薬カートにトレーを自動で収納できること。 臨時トレーは注射薬カート内の定期トレーと混在させないために完了トレー装置へ仕分けられること。		5-3	
5-5 エラー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 完了トレー装置			
### 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
6 6-1 1ユニットは26個以上のトレーを収納できること。 6-2 エラー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。 トレー台車 7-1 トレーを積み重ねて保管できること。 7-2 トレーを積んだ状態で移動できること。 7-3 トレー台車はトレーを積んでいない時は複数台をスタッキング保管できること。 7-4 トレー台車は、トレーをまとめて積載した状態で、空トレー装置内にセットできること。 7-5 トレー台車は、効率化の為重ねた20個以上のトレーを一度に充填できること。 7-6 トレー充填を効率化するため、トレー台車は外部に予備で用意できること。 トレー自動収納装置 8-1 注射薬カートにトレーを自動で収納できること。 8-2 臨時トレーは注射薬カート内の定期トレーと混在させないために完了トレー装置へ仕分けられること。		完プトレー	
6-2 エラー発生時やトレー補充時には、文字や音声で内容をお知らせできること。	6	6-1	1ユニットは26個以上のトレーを収納できること。
7-1 トレーを積み重ねて保管できること。 7-2 トレーを積んだ状態で移動できること。 7-3 トレー台車はトレーを積んでいない時は複数台をスタッキング保管できること。 7-4 トレー台車は、トレーをまとめて積載した状態で、空トレー装置内にセットできること。 7-5 トレー台車は、効率化の為重ねた20個以上のトレーを一度に充填できること。 7-6 トレー充填を効率化するため、トレー台車は外部に予備で用意できること。 トレー自動収納装置 8-1 注射薬カートにトレーを自動で収納できること。 8-2 臨時トレーは注射薬カート内の定期トレーと混在させないために完了トレー装置へ仕分けられること。		6-2	
7-2 トレーを積んだ状態で移動できること。 7-3 トレー台車はトレーを積んでいない時は複数台をスタッキング保管できること。 7-4 トレー台車は、トレーをまとめて積載した状態で、空トレー装置内にセットできること。 7-5 トレー台車は、効率化の為重ねた20個以上のトレーを一度に充填できること。 7-6 トレー充填を効率化するため、トレー台車は外部に予備で用意できること。 トレー自動収納装置 8-1 注射薬カートにトレーを自動で収納できること。 8-2 臨時トレーは注射薬カート内の定期トレーと混在させないために完了トレー装置へ仕分けられること。			
7-3 トレー台車はトレーを積んでいない時は複数台をスタッキング保管できること。 7-4 トレー台車は、トレーをまとめて積載した状態で、空トレー装置内にセットできること。 7-5 トレー台車は、効率化の為重ねた20個以上のトレーを一度に充填できること。 7-6 トレー充填を効率化するため、トレー台車は外部に予備で用意できること。 トレー自動収納装置 8-1 注射薬カートにトレーを自動で収納できること。 8-2 臨時トレーは注射薬カート内の定期トレーと混在させないために完了トレー装置へ仕分けられること。			
7-4 トレー台車は、トレーをまとめて積載した状態で、空トレー装置内にセットできること。 7-5 トレー台車は、効率化の為重ねた20個以上のトレーを一度に充填できること。 7-6 トレー充填を効率化するため、トレー台車は外部に予備で用意できること。 トレー自動収納装置 8-1 注射薬カートにトレーを自動で収納できること。 8-2 臨時トレーは注射薬カート内の定期トレーと混在させないために完了トレー装置へ仕分けられること。	7		
7-5 トレー台車は、効率化の為重ねた20個以上のトレーを一度に充填できること。 7-6 トレー充填を効率化するため、トレー台車は外部に予備で用意できること。 トレー自動収納装置 8-1 注射薬カートにトレーを自動で収納できること。 8-2 臨時トレーは注射薬カート内の定期トレーと混在させないために完了トレー装置へ仕分けられること。			
トレー自動収納装置 8-1 注射薬カートにトレーを自動で収納できること。 臨時トレーは注射薬カート内の定期トレーと混在させないために完了トレー装置へ仕分けられること。		7-5	トレー台車は、効率化の為重ねた20個以上のトレーを一度に充填できること。
8-1 注射薬カートにトレーを自動で収納できること。 8-2 臨時トレーは注射薬カート内の定期トレーと混在させないために完了トレー装置へ仕分けられること。			
8-2 臨時トレーは注射薬カート内の定期トレーと混在させないために完了トレー装置へ仕分けられること。	8		
⁸⁻² れること。			
トレー表示器		8-2	
		トレー表示	品 品

大区分	小区分	内容
9		トレー表示器は、トレー側面にトレー個体を識別できるよう、本院の希望する以下の情報が表
9	9-1	示できること。
		●患者名 ●施用日 ●病棟名 ●処方区分 など
10	カート	
	10-1	注射薬搬送カートは注射薬自動払出装置用のトレーを収納できること。
	10-2	注射薬搬送カート本体の材質は軽量で丈夫なスチール製であること。
	10-3	注射薬搬送カートは、多少の床の凹凸は容易に乗り越えられるよう、キャスターの車輪径は
		直径110mm以上であること。またキャスターはストッパー付であること。
	10-4	注射薬搬送カートからトレーを引き出す際、誤ってトレーが落下しないよう脱落防止機構が
		付いていること。
	10-5	注射薬搬送カートで使用するトレーは、作業効率を考慮して注射薬搬送カート外で重ねて積
		めること。
	10-6	セキュリティ対策用として注射薬搬送カートにトレーのロック機構があること。
	10-7	空のカートは重ねて収納できること。
	10-8	注射薬搬送カートは、トレーの表示を人目から保護するカバーがついているなど個人情報管
		理に配慮した仕様であること。
	10-9	トレーが30個以上収納できる注射薬カート60台を用意できること。